

令和7年度 児童朝会 講話

■令和8年 3月16日 No.29「ことば4」

おはようございます。いよいよ今年度最後の児童朝会になりました。がんばっていきましょう。今日は2年1組から放送いたします。

まずは、「いいとこみつけたよ♪21」です。各階段の掲示板などには、各学年が作製した「おめでとう」の大型ポスターを紹介します。みなさん、6年生の卒業を祝う素敵なポスターをつくってくれました。先週木曜日には、6年生からの卒業のお土産として、家庭科の時間につくったぞうきんが手渡されました。パッキン清掃では、廊下の行き止まりの部分や、雑巾をかけるバーを磨くなど、普段あまり掃除しないようなところまで、がんばって掃除をしてきていました。廊下の目地の汚れをとるために、ひざをつけてミニほうきではいているお友だちもいましたよ。

3年生が学習園の雑草を全部抜いてくれました。これで春からいろんな植物を育てることができそうですね。

そして学ぶことはつながることということで、今週もたくさん素敵な学び合いの光景をみることができました。写真ですが、まるで聴き合う声が聞こえてきそうなほどですね。よくつながっています。これは1年生が4チームドッジボールをしているのですが、作戦タイムをとっているところです。5年生はTバットボールをするのに、全員が楽しめるように、ルールを工夫していましたね。

6年生の最後の英語の授業では、**What's your best memory?** と立派に英会話をしていました。5年生の理科では電磁石を強くするためにはという難しい課題に取り組んでいました。また投資ゲームにも挑戦していました。1年生の算数では、じゃんけん陣取りゲームを楽しんでいました。3年生はお友だちに賞状をプレゼントしていたのですが、よく聴き合ってつくってました。5年生が国語の音読のあと、書き込みをしていました。自分でいいなあと思ったところに線を引いて、その理由

などを書き込むのですね。真剣に取り組んでいました。

さて、今週も言葉の話しの続きです。「人類が最初に言葉をしゃべったのは、どんな時？」というのがお題で、今回も多くのお友だちが回答をかいてくれました。ありがとうございます。全部すてきな回答ですが、今日はその中で「敵に襲われたとき」に注目したいと思います。

人類は、いつからしゃべったのでしょうか。ラミダスさんにインタビューしてみましよう。「ラミダス猿人はしゃべってましたか?」「いいや、わしらは、猿人はまだ言葉がないからしゃべることはできないよ。」では、原人、旧人、新人のどこの時代からしゃべり始めたのでしょうか?実は、原人のなかでも、80万年ぐらい前のペキン原人ぐらいからしゃべり始めたと考えられています。これが北京原人の想像図です。チャットGPTに描いてもらいました。猿人とくらべてどこが違うでしょう?近くの人と聞き合ってみてください。

毛の量が違う、パンツみたいなのははいている、手に武器みたいなものを持っている…などなどたくさん出ましたね。なお、北京原人は火も使えるようになっていたことがわかっています。では、なぜペキン原人は火を使えていたとわかるのでしょうか?

それは、北京原人の骨の周りに、焚火のあとが証拠として見つかっているからなのですね。では、同様に、北京原人が言葉を使ってしゃべり始めたという証拠はなんでしょう?もちろん、スマホやビデオカメラは無い時代です。これが、今週のお題です。少し難しいのでヒント出しておきます。まず北京原人から、急に頭が大きくなっていきました。それと、喉の骨が進化して、複雑な音が出せるようになっていたことがわかっています。

答えの予想が見つかったひとは、校長室前のボードに書きにきてください。

今日も最後まで静かに話をきいていただき、ありがとうございました。